

アルバ - トに心に向け、アルバ - トの宇宙をこの心で感じていけばいくほど、過去宇宙時代に膨らませてきたパウ - を求める心の受け入れを促されているように思います。私は喜びの UFO の思いだけを受け入れていきたかった、その思いがこの前のセミナ - 会場の喜びの波動の中でいかに冷たい心であったのか、私は喜び、私は温もりであったともう懺悔、懺悔でした。宇宙時代に膨らませてきた心のままでこの地球上の 3 億 6 千年を存在し続けてきたことを感じました。だから宇宙のときに使った心を受け入れない限り、過去世の供養は出来てこないと思います。私の心の中で悪態をつきます。脅してきます。「お前、我らのパウ - をさんざん利用しやがって今さら我らと手を切るといのか。我らを見捨てるのか。お前の身の破滅だ。もう一度冷静に考えろ。」だけどもいくら闇が語ってきても恐怖とか心を揺らすとかありませんでした。アルバ - トに向けたときにこの心がどんどんどんどん広がっていき、アルバ - トの波動の中でしか私達は存在し得ないということを知っています。私の心で気付き始めたのです。だから闇にいとおしさすら感じました。でも私の心にはまだまだ宇宙のパウ - に対して未練が残っています。だから心の中で綱引きしています。見捨てるのではなく、ともに歩いていこうと伝えていけるそんな心をつくっていきたいです。闇なんてありませんでした。そしてマイナスの UFO を受け入れるということがプラスの喜びの UFO へと変わっていくことだと少しずつ分かりかけてきました。